

各社注目のアップサイクル製品

“二日酔い”の低減効果が期待

ばい煎コメヌカ抽出物

奥野製薬工業

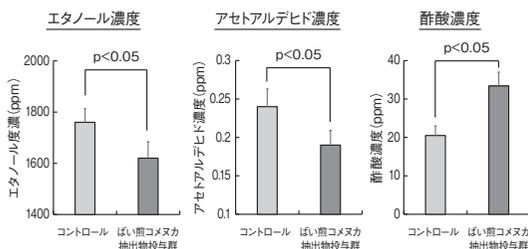
奥野製薬工業は、米油の製造で生じる残さをアップサイクルした「ばい煎コメヌカ抽出物」を約20年前から製造・販売している。主にオフフレーバーのマスキングに使用されてきたが、最近はいわゆる二日酔いの軽減効果が期待できる素材として、新たな切り口で提案を進めている。

ばい煎コメヌカ抽出物は、米油製造時の残さである脱脂米ぬかを、焙煎、抽出、ろ過、濃縮することで、魚臭のマスキングや油脂の酸化臭低減といった多様な機能を付与した独自素材。マルトールやバニリンを含み、既存添加物にも指定されている。

一方最近では、動物実験にてエタノールの代謝を促進する効果が示唆されている。一般的に動物が摂取したエタノールは、肝臓でアルコール脱水素酵素（ADH）によりアセトアルデヒドに分解された後、さらにアセトアルデヒドはアセトアルデヒド脱水素酵素（ALDH）により分解され、人体に無害な酢酸となり、最終的には水と二酸化炭素に分解される。アセトアルデヒドが体内に留まることで、二日酔い等の症状の原因となる。

エタノールを摂取させたラットにばい煎コメヌカ抽出物を投与したところ、ADH・ALDH活性が高まり、血中のエタノールおよびアセトアルデヒドの濃度が低下。また酢酸の濃度が有意に上昇していることが確認された。さらに生体において抗酸化作用を示唆するデータも取得している。

同社はこのばい煎コメヌカ抽出物について、使いやすい食品素材グレードにした素材を開発し、二日酔い軽減素材として展開を進めている。



ラットによる試験の結果